

2025年12月期 第2四半期 決算説明会 質疑応答の要約

2025年8月7日(火)に開催した2025年12月期 第2四半期 決算説明会において、出席者の皆さまからいただいた質問をまとめたものです。弊社代表取締役社長 佐藤より回答させていただきました。

なお、回答内容につきましては、文書化するにあたり、IR担当より補足加筆させていただいております。

Q1. 仲間づくり(M&A)の投資枠30億円は、意欲的な金額設定で評価できますが、この金額の設定根拠を教えてください。また対象会社として上場会社と非上場会社のどちらを想定されているか教えてください。

A1. 30億円の投資枠は、当社の自己資金に加え、GMOクリエイターズネットワーク株式会社の株式譲渡によって得られる金額、さらに金融機関からの借入可能枠を勘案し、当面の運転資金を控除して設定しました。

対象会社は、上場、非上場を問わず、幅広く検討しています。東京証券取引所の市場改革の影響もあり、上場会社も検討候補に入ってくる環境になりました。また、当社の事業領域においては、非上場企業も多く存在すると考えています。(佐藤)

Q2. 期初に公表された中期経営方針は、今回も据え置かれています。これは、仲間づくり(M&A)によるのれん償却など、利益影響が不確定な要素を考慮したため、という理解でよろしいでしょうか。

A2. はい、ご認識の通りです。具体的に仲間づくり(M&A)案件の実行など、中期方針の見直しが必要になりましたら修正のうえ、公表いたします。(佐藤)

Q3. GMOクリエイターズネットワーク株式会社(FREENANCE)の株式譲渡に関して、将来的に大きな損失が発生するリスクはありますか。また、第2四半期に計上された持分法投資損失は、この株式譲渡に関連するものでしょうか。

A3. 現時点において、株式譲渡に伴う将来的な損失の発生可能性はないと考えています。

また、当第2四半期に計上いたしました持分法投資損失は、本株式譲渡とは関係ございません。これは、別の投資先に起因するものです。

本株式譲渡が当社の連結業績に与える影響につきましては、現在精査を進めております。開示すべき事項が決定した場合は、速やかに公表いたします。(佐藤)

Q4. SUZURI事業の営業利益は、第2四半期累計期間において堅調に推移していると思いますが、同事業には季節性があると認識しております。通期での営業利益の見通しについて教えてください。

A4. 前年(2024年)は、Tシャツセールに伴う流通額の一部が第3四半期に計上されましたが、今年(2025年)は生産体制の改善により出荷までの日数が短縮され第2四半期に計上することができました。これにより、第2四半期の営業利益は、前年同期比で上振れて着地しています。通期で見た場合も、堅調に推移すると考えています。(佐藤)

以上